

News Release

2022年5月17日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2022 年 3 月 31 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

xarvio® SCOUTING、欧州においてフェロモントラップを精密に分析する新機能を実装

- 害虫を即時に識別する新機能
- 欧州のブドウ、仁果(リンゴ、ナシなど)、核果(モモなど)の生産者のために開発
- コドリング、ホソバヒメハマキ、ナシヒメシンクイを検出

ドイツの総合化学メーカーBASFの子会社である BASF デジタルファーミング社(本社: ドイツ ケルン)の xarvio® SCOUTING(ザルビオスカウティング)は今季、ブドウ、仁果(リンゴ、ナシなど)、核果(モモなど)の欧州の生産者のために、フェロモントラップを即時に分析する機能を新たに実装しました。

この新機能は、無料で提供されている xarvio® SCOUTING のスマートフォンアプリで使うことができます。フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、ポーランド、スペイン、イギリスの各国での使用に適しており、高度な画像認識技術、機械学習、アルゴリズムによって、コドリング、ホソバヒメハマキ、ナシヒメシンクイがフェロモントラップの中に何匹いるかを正確に識別します。

使い方は簡単です。スマートフォンに入れた xarvio® SCOUTING アプリでフェロモントラップを撮影すると自動で分析され、どの害虫が何匹いるのかを数秒で識別できます。アプリで得られた情報により、生産者は作物や周辺地域への害虫の侵入状況をより深く理

解しながら、作物管理の意思決定を迅速に行うことができます。また、この新機能では、発見されたすべての情報を自動的に記録します。

「xarvio®は、生産者や指導員等、生産に関わる方々が作物生産を最適化し、収益性を上げ持続可能性を高めるために、利便性と価値を提供することに力を注いでいます。我々のデジタルソリューションは、農業の適正使用等を含む、農学的意思決定をより正確かつ迅速に行うことを可能にしていきます」とグローバルプロダクトマネージャーのエヴァ・ヒルは述べています。

「xarvio® SCOUTING のフェロモントラップ分析機能は他に類を見ないものであり、生産者のニーズに基づき、圃場試験によってその有効性が実証されたものです。ブドウ、仁果、核果の生産者たちは、この機能の価値、特にその精度に加えて、フェロモントラップ内の害虫を数えるという手間のかかる作業から解放されるという点で、高く評価してくれると確信を持っています」とヒルは話しています。

xarvio® SCOUTING は、各国の農業条件に合わせて調整されています。フェロモントラップ分析の新機能の他、窒素の取り込みのセンシング、葉の損傷の分析、400 以上の雑草の検出、60 種類以上の作物に関する 400 種類以上の病害虫および栄養不足によって引き起こされる被害の識別を行う機能を備えています。

xarvio® SCOUTING は、日本でも App Store または Google Play より無料でダウンロードしてご利用いただけます。日本においては、雑草の検出、病害虫の識別、葉の損傷の識別の 3 つの機能をご利用になれます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■xarvio®デジタル農業について(BASF デジタルファーミング社のブランド)

xarvio®(ザルビオ)は生産者が最も効率的かつ持続可能な方法で作物を生産できるように、各圃場の状況に応じたリコメンデーションを提供する作物モデルプラットフォームに基づいた最先端のデジタルソリューションです。xarvio®は、圃場を管理する「FIELD MANAGER」、病害虫雑草を画像診断する「SCOUTING」、「HEALTHY FIELDS」から成り、100 カ国以上の生産者に使用されています。「FIELD MANAGER」は世界 16 カ国で 80,000 人の生産者(総面積 1,100 万 ha 以上)が使用し、「SCOUTING」は 600 万回ダウンロードされています。xarvio®についての詳細は <https://www.xarvio.com/jp/ja.html> をご参照ください。

■BASFのアグロソリューション事業本部について

環境への影響を減らすと同時に、急速に増加する人口に対して、健康的で手頃な価格の食料を十分に供給するには、農業が不可欠です。提携パートナーや農業の専門家と協力し、持続可能性の基準をあらゆるビジネスでの意思決定に統合することで、生産者が持続可能な農業にプラスの影響を与えるお手伝いをします。そのため、BASFは、革新的な思考と現場での実践的な行動とを結びつける強力な研究開発パイプラインに投資しています。当社のポートフォリオは、種子、厳選された苗の形質、化学的および生物学的な作物保護、土壌管理、植物の健康、害虫防除およびデジタル農業のためのソリューションで構成されています。ラボ、フィールド、オフィス、生産の専門家チームと共に、生産者、農業、未来の世代の人々のために、成功のための適切なバランスを見つけたいと考えています。2021年の売上高は82億ユーロでした。アグロソリューション事業部についての詳細は www.agriculture.basf.com/jp または各種ソーシャルメディアをご参照ください。